

## 講話概略【存在そのものを誉める大切さを】

橋こころ先生はご存知でしょうか。高校2年時点で小学4年生程度の学力しかなかった学年最下位の女子が、先生の指導や周りの支援を受けて慶応義塾大学現役合格までしてしまったという『ピリギャル』で名を馳せた小林さやかさんのお母様です。

こころ先生は講演の中でこう仰っています。

子どもを『信じる』ことで、自己肯定感が強い子に成る。  
命令“○○しなさい！”…これでは人の心は動かない。  
お願い、希望を伝える…これで人の心は動く。  
相手を褒める時、人は3つの要素で誉めている。

① **H a v i n g** 『持っているもの、所属しているもの』を誉める。

⇒学年1位の成績、表彰された等々

② **D o i n g** 『行動、できた事』を誉める。

⇒お手伝いをしてくれてありがとう等々

③ **B e i n g** 『存在自体、今ここにあるその人そのもの』を誉める。

⇒“貴方が笑顔で居てくれて、お母さんは幸せだよ”等々

という3つです。其々大事なんですが、**H a v i n g**と**D o i n g**だけでは、そのような結果を伴わなければ誉めてもらえない、というような心理を子どもに与えてしまいます。

けれども存在そのものの**B e i n g**を誉められる事で、どんな自分も受け容れてくれているんだという安心感を子どもは持てるようになります。

また、ネガティブな言葉を掛け続けると成果が下がるゴーレム効果がある一方で、“あなたなら大丈夫だよ”と、根拠が無くても言い続ける事で成果が上がるピグマリオン効果というものがあります。お子さんにどちらの言葉を掛けているのでしょうか？

私自身、自分の子どものどこをみて、どんな言葉を掛けているのか？誉めてあげられているのか？と考えさせられる講演内容でした。

〔家庭のみならず、職場でも、地域の中でも、自分を振り返って点検するのも良い事ですね。〕

## その他連絡事項

① 本日の対面の面会は2件あります。F.Kさんが10:30から、M.Yさんが14:40から予定されていますので、宜しくお願いします。

② 本日より、S.Kさんがショートステイとなります。普段よりも長めですが、ご家族の都合があり、今回特別に長めのショートステイとなります。10:00お迎えで来ますので宜しくお願いします。〔ご家族の都合により、その後、9:30頃のお迎えに変更となっている。〕

③ 来週の金曜日17日に、新しい介護ベッド5台が入ります。暫くベッドの入替えを行っていませんでした。光寿苑は今年度も赤字が続いており余裕はありませんが、県で実施している介護ロボット助成金が決まりましたので、離床センサー機能搭載のベッド導入を決めました。従来のベッド脇に置くセンサーマットの機能が、ベッドに内蔵されナースコールと連動するものです。現在、介護リーダーの直樹君にどの部屋の誰に使用するか検討をしてもらっています。

④ 職員についてですが、S.Kさんが今年度いっぱい退職となります。残す2ヵ月、一緒に働ける時間、宜しくお願い致します。

【講話、④＝理事長 ①＝生活課長 ②＝生活相談員 ③＝事務課長】